

令和5年度川崎市立小学校体育研究会ハンドボール研修会 ーストリートハンドボールの魅力を知り授業への導入を考えるー

神奈川県ハンドボール協会 強化・普及部 ライフスポーツ委員会

1 ねらい

デンマーク発祥の「ストリートハンドボール」を体験し、その魅力を知ると同時に小学校の体育授業（ゴール型）への導入を考える。また、研修を通して参加者相互の交流の機会とする。

2 日時 令和5年7月12日（水）14:30～16:30

3 会場 川崎市立西梶ヶ谷小学校体育館
川崎市高津区梶ヶ谷2-14-1（東急田園都市線梶が谷駅下車徒歩10分）

4 主催 川崎市小学校体育研究会

5 共催 神奈川県ハンドボール協会

6 参加者 川崎市立小学校教員 38名

7 講師 神奈川県ハンドボール協会 ライフスポーツ委員会

委員長 本田 義昭 専門委員 稲葉 由香

神奈川県ハンドボール協会 競技力向上委員会 専門委員 安井 真也

8 補助員 神奈川県立生田高等学校ハンドボール部員 15名

9 内容等

主催者挨拶、講師紹介後、準備運動、ボール慣れ、パス・キャッチ、シュート練習後、ルール説明を受けた。柔らかいボール、ドリブルは無し、接触プレー禁止、全員参加、全員攻撃、交替は GK から入る、体を1回転させるなど独創的なシュートは2点、その他独特のルールがあり、まずは高校生による模範試合を観戦した。

その後、チーム分けを行い、実際のゲームを体験した。最初は、全員にパスを回すことやシュート後は直ぐにコート外に出ることなど、慣れなくて困惑した参加者もいたが、徐々に慣れ、豪快なシュートを打ったり、GK からいきなりシュートを狙ったり楽しんでいた。

研修終了後、何人かの参加者に話を聞いたところ、ボールが小さくて握りやすい。当たっても痛くないので GK も怖くない。4対3の攻防になるので攻撃有利の場面が生まれ、得点チャンスが多い。小学生でも充分楽しめるのではないかな等の感想をいただいた。

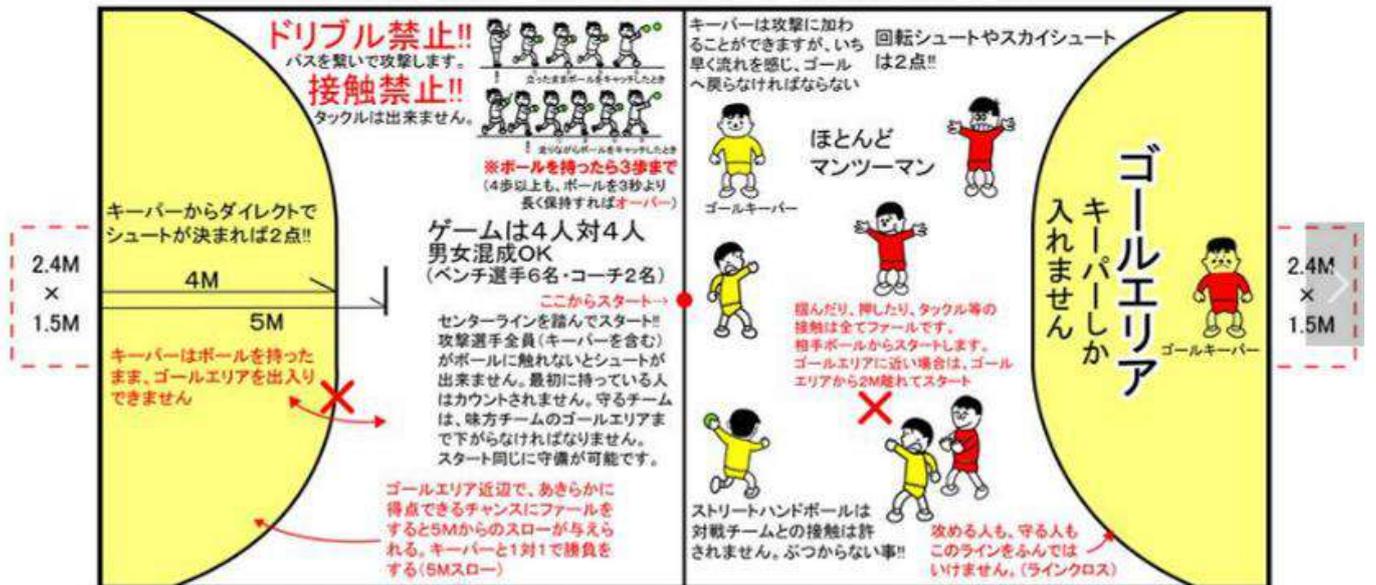






ストリートハンドボール公式簡単ルール

ボールはストリートハンドボール用ボール(セレクト・ミダス・ミカサ・モルテンの綿入りボール)
 コートサイズは20M×10M(小学校の体育館なら2面可能)
 試合時間は通常10分-5分-10分(年齢にあわせて設定)



ストリートとハンドボールは、接触が許されません。全てファールとなり相手ボールになります。何度も繰り返すとイエローカードが出されますが、退場はありません。ただし、同点の場合チームのイエローカード累積数の少ないチームの勝利となります。ストリートハンドボールは流れを大事にしています。子供達の試合では、シュートチャンスを優先し、多少のオーバーやラインクロスでゲームを中断しないようにお願いします。日本ストリートハンドボールは育成と普及が目的の国際ストリートハンドボールの基本理念に基づいて活動をしています。

※注意:コートサイズ、ゴール、ボールなどは、環境によって変更しても問題はありません。
 参加者のニーズに合わせ、スポーツ理念に従いゲームを楽しんでください。

10 視察に来られた校長等

- ・川崎市立西梶ヶ谷小学校 校長 鶴見 悦子
- ・川崎市立東高津小学校 校長 渡部 伸一
- ・川崎市立下作延小学校 校長 棟居 謙
- ・(株)モルテン スポーツ事業本部 国内営業統括部 東京支店 参事 中村 欽哉

11 その他

今回は、川崎市小学校体育研究会主催の研修会に神奈川県ハンドボール協会が共催という形で関わらせていただき、ストリートハンドボールを実施する運びとなった。暑い中であったが、西梶ヶ谷小学校の鶴見校長のご配慮で、大型扇風機、冷たいお茶や熱中症予防の塩分タブレット等を用意していただき、怪我や体調不良といった事故もなく無事に終了することができた。

また、準備・片付け、活動補助として生田高校ハンドボール部の部員にサポートしてもらい、大変助かった。協力していただいた全ての方にこの場を借りて感謝申し上げたい。ありがとうございました。なお、企画から実施までを神奈川県ハンドボール協会ライフスポーツ委員会が担当したが、振り返りを行い今後の企画に生かしていきたい。

最後に、ストリートハンドボールは、小学校の体育の中では是非扱ってほしい教材であることを申し添えたい。走・跳・投という全ての運動の基礎となる要素を含み、ボールも小さくて片手で扱いやすい。ルールも正規のルールに拘る必要はなく、各学校で工夫して柔軟に対応することが可能である。

【参考】 現行の小学校学習指導要領について掲載する。

3学年及び4学年、5学年及び6学年に種目としてハンドボールが記載されており、ハンドボール自体を扱うこともできるが、導入としてストリートハンドボールを実施することが有意義と考える。もちろん、1学年及び2学年でも的あてゲーム等で実施できる。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編

小学校第1学年及び第2学年 E ゲーム

ボールゲーム

○的あてゲーム ○シュートゲーム

小学校第3学年及び第4学年 E ゲーム

ゴール型ゲーム

○ハンドボール、ポートボール、ラインサッカー、ミニサッカーなどを基にした易しいゲーム（味方チームと相手チームが入り交じって得点を取り合うゲーム）

小学校第5学年及び第6学年 E ボール運動

ゴール型

○バスケットボール、サッカー、ハンドボールなどを基にした簡易化されたゲーム（攻守が入り交じって行うゴール型）